

令和 8 年度地域連携推進会議

日 時 令和 8 年 9 月 17 日 (木) 9 時 30 分～10 時 30 分

場 所 芝久保どろっぷす

東京都西東京市芝久保町 1-2-2

出席者

グループホーム利用者 1 名
グループホーム利用者保護者 2 名
民生委員 1 名
利用者後見人 1 名
理事長
副理事長
部長
サービス管理責任者
前サービス管理責任者

1. 開会の挨拶

副理事長より皆様へあいさつ

2. 参加者自己紹介

3. 芝久保どろっぷすからの報告

前年度会議以降の報告

○人事異動について

部長・サービス管理責任者の変更

○経営状況

昨年度と収益・支出ともに大きな変化はなく、安定した事業運営を継続できている。

○災害時の対応

地域の避難所で過ごすことは難しいと思われるため籠城を基本としている。

災害時用食料に加え、食材・日用品ともにローリングストックを行い、常に一定量を備蓄し、最低でも 7 日間は食材・日用品の対応ができる体制にしている。

通信手段の確保を目的に、今年度中に各ユニットにソーラーパネル付きモバイルバッテリーを配備予定。

○利用者の様子 ※利用者の変更はなし

ケアホーム宙は 60 歳以上の利用者が 2 名となった。

加齢により公共の交通機関を利用した自主通所が厳しくなる。また入浴なども介助が必要になっている。

家族も高齢になり、帰宅回数を毎週から隔週になるケースが昨年度より増えている。

安全にお過ごしいただくために、手すりの設置や浴室の改修などの検討が必要になっている。

○健康診断・各種検診による健康管理

家族の付き添いによる健康診断受診が難しくなるケースが増えている。移動支援での付き添いが認められていない自治体もある。

○地域の調剤薬局との連携

訪問看護の導入に続き、新たに薬局との連携を図る予定。

○余暇の充実

帰宅の減少に伴い、好きな食事を楽しむ機会も減少しているため、ヘルパーとランチに行く機会を定期的につくっている。

また、旅行も企画し来月に自費による一泊旅行を予定している。

4. 質疑応答、参加者からのご感想など

自治体により福祉サービスに格差があるように感じられる。このような格差を少しでもなくしてほしい。

5. 閉会の挨拶

理事長より皆さまへあいさつ

閉会后、ケアホーム宙へ移動し、ユニット見学を実施